

器具形名	
------	--

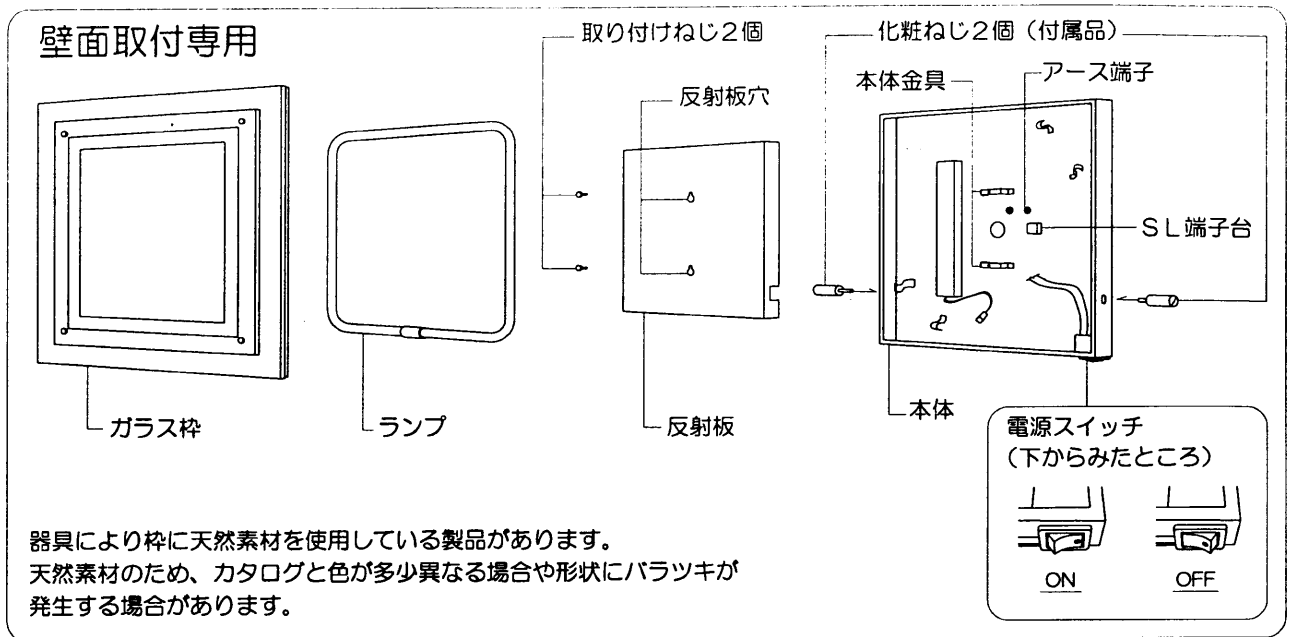
- このたびは東芝蛍光灯器具をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
- 正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
- お客さまはお読みになったあとも必ず保管してください。

- お客様へ** この器具の取付工事は必ず電気工事店に依頼してください。
照明機器の工事に関しては、電気工事の有資格者の施工管理が義務付けられています。
- 工事店様へ** 施工に関しては、電気設備技術基準・内線規程に従ってください。
工事が終了しましたら、この取扱説明書は必ずお客様へお渡しください。

■安全上のご注意 商品および取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全にお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

	警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
	注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。
	警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
●器具の取り付けは、取扱説明書に従い行ってください。 取り付けに不備があると、落下・感電・火災等の原因となります。	 取り付け	●この器具は壁面の丈夫なところに取り付けてください。薄い壁・弱い壁に取り付けますと、火災・感電・落下などの原因となります。
●ランプに直接水をかけたり、器具のすきまなどに針金などを差し込まないでください。ランプの破損によるけがや感電・火災の原因となります。	 禁止	●器具を分解や改造したりして、使用しないでください。 火災・感電・落下の原因となります。
●ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。 感電の原因となります。	 電源を切って 	●必ずアースを取り付けてください。アースが不完全な場合は、感電の原因となります。 (アースは法律により第3種接地工事が必要です。)
●紙や布などを器具にかぶせたり、近くに置いたりして使用しないでください。火災の原因となります。	 可燃物	
●調光器（当社商品名コントロールクスなど）による調光使用はできません。調光器が取り付けられている配線でこの器具をご使用になりますと、器具の破損や発煙の原因となります。	 調光器	
	注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。
●交流100V、200V(±6V)以外の電圧で使用しないでください。上記以外の電圧を加えるとランプ・器具の寿命が短くなったり、加熱による火災の原因となります。	 電源電圧	●点灯中及び消灯直後は、ランプ及び器具が高温になっておりますので、手を触れないでください。 やけどの原因となります。
●人感スイッチと併用して使用する場合、センサーの動作によりランプの点滅が多くなる場所ではランプの短寿命の原因となります。	 人感スイッチ	●ランプホルダーを強くはじかないでください。ランプの破損、落下の原因となります。
●この器具は非防水です。 屋外や湿気の多い場所で使用しないでください。 火災・感電の原因となります。	 湿気禁止	●暖房器具、ガス器具等の真上付近等の温度の高い場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。 (この器具は、5～35℃の温度範囲で使用するように設計してあります。)
●塩害地では使用しないでください。部品の腐食の原因となります。		
●振動の激しい場所や、器具に衝撃の加わる場所では使用しないでください。器具破損の原因となります。		
●照明器具には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。 点検・交換をおすすめします。 ※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。(JIS 8105-1解説による。)		
●周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。		
●点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙・発火・感電などに至る恐れがあります。		
●ランプの点滅が多い場所に使用しますとランプの短寿命の原因となります。		

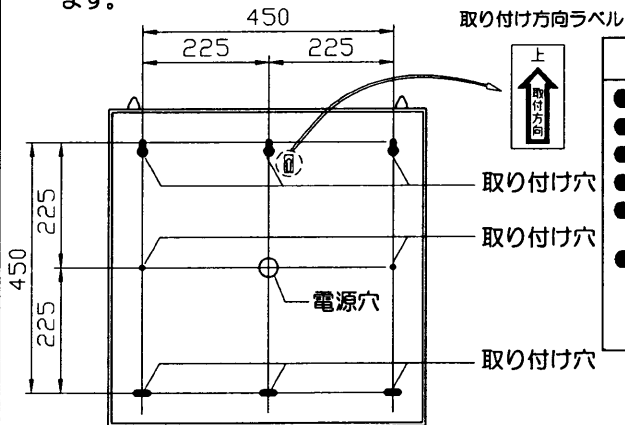
■各部のなまえ



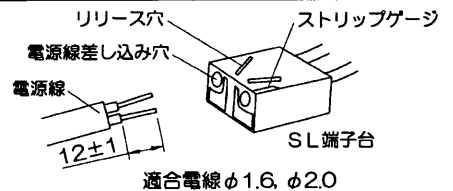
■器具の取り付けかた

警告 器具落下の原因となります。
取り付けの際は壁面に補強材が必要です。
補強材のない壁面には取り付けできません。

1. 本体を取り付ける前にランプ、反射板を取り外してください。
取り付けねじをゆるめると反射板は外れます。
2. 下図は器具の取り付け寸法を示します。
取り付け方向ラベルの矢印方向を上にして取り付けます。



3. 電源線を本体中央の電源穴より引き込み、本体の取り付け穴（6ヶ所）に木ねじ（6本）で取り付けます。
4. 電源線をSL端子台に接続します。
 - ・電源線の被覆をストリップゲージに合わせてむいてください。（ 12 ± 1 mm）
 - ・電源線をSL端子台に確実に差し込み、結線後は電源線を壁内に押し込んで器具内でたるまないようにしてください。



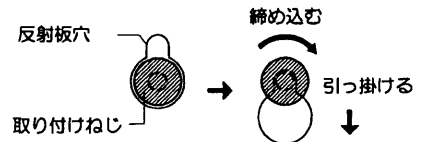
注) 電源線をめくるときは、リリース穴内部のレバーをマイナスドライバー等で押して電源線を引き抜いてください。

5. 本体内のアース端子にアース線を接続してください。

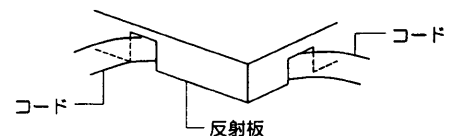
警告 感電・発熱・焼損・火災の原因となります。

- 電源線皮むき寸法は $12\text{mm} \pm 1\text{mm}$ で、垂直にカットしてください。
- 結線は電源線を確実に奥まで差し込んでください。
- 電源線はまっすぐなφ1.6mm, 2.0mm銅単線を使用してください。
- 曲がった電源線及び、より線は使用しないでください。
- 電源線結線及び器具施工の際は電源線をねじったり回したりしないで下さい。
- ポリエチレン系絶縁体を使用したEM(エコマテリアル)ケーブルをご使用される場合には、器具内に引き込んだケーブルの外部被覆(シース)を除去し、絶縁体を露出したままにせず、黒色テープまたはチューブで覆い、全線心に遮光処理を行ってください。

6. 取り付けねじ（2個）を本体金具に半分ほど締め込み、反射板穴に取り付けねじを引っ掛けます。



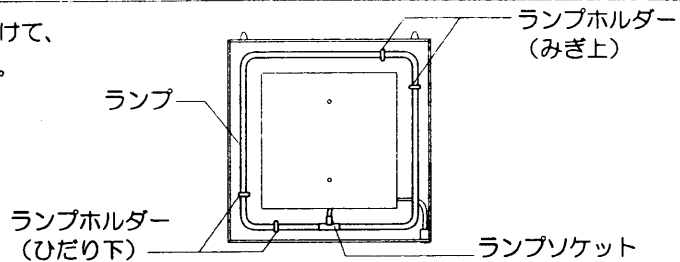
7. 取り付けねじ（2個）を締め込んで反射板を固定します。
側面の穴にコードが通るよう取り付けます。



警告 反射板と本体の間にコード類をはさまないようにしてください。
破損、感電、火災の原因となります。

■ ランプの取り付けかた

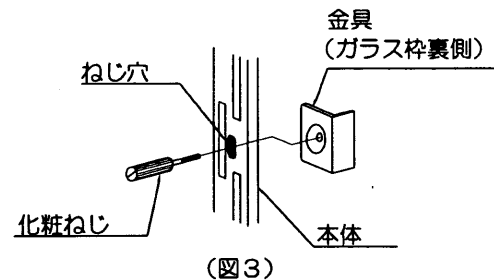
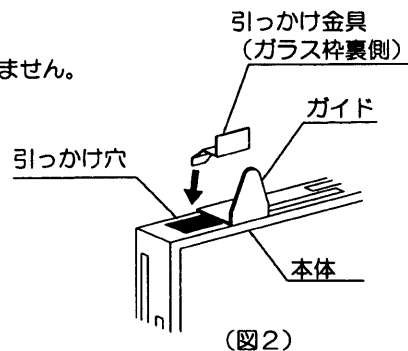
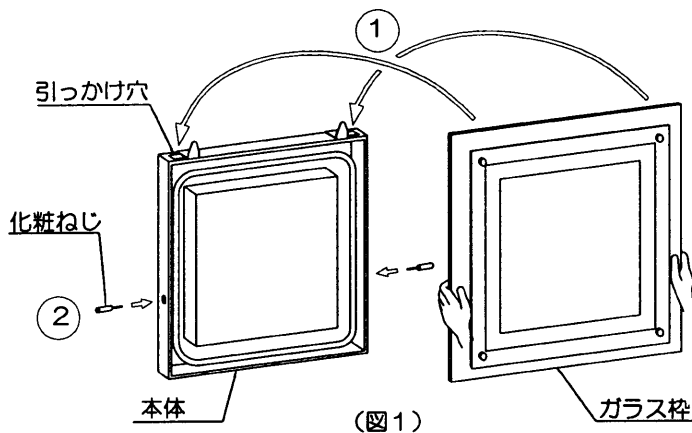
1. ランプをランプホルダー（みぎ上2個）に引っ掛けて、ランプホルダー（ひだり下2個）に引っ掛けます。
2. ランプソケットをランプに取り付けます。



■ ガラス枠の取り付けかた

- ① ガラス枠を両手で持ち、本体上面の引っ掛け穴（左右2カ所）にガラス枠裏側の引っ掛け金具（2個）を挿入します。（図1、図2）
 - ② 付属品の化粧ねじ（2個）を本体両側のねじ穴から差し込み、ガラス枠裏側の金具に最後まで締め込みます。（図1、図3）
- ※注意：ガラス枠が完全に本体に挿入されないと化粧ねじは締められません。

警告 落下してけがのおそれあり。
ガラス枠は確実に取り付けてください。



<取りはずしかた>

側面の化粧ねじをはずし、ガラス枠を上引き上げ本体よりはずします。

■ ランプの交換

注意 ランプ交換の際は必ず電源スイッチを切ってください。感電の原因となります。

1. ガラス枠をはずします。
2. ランプからランプソケットをはずします。
3. ランプホルダー（ひだり下2個）（みぎ上2個）からランプをはずします。

- ランプ交換の際は、必ず本体表示によるランプの種類、ワット(W)数の適合ランプをご使用ください。間違った種類、ワット(W)数のランプをご使用した場合は、加熱により器具が変形、変色したり火災の原因となります。
- ランプの端部が黒ずんだり、暗くなりましたら早めに交換してください。
- ランプ交換の際は、東芝蛍光ランプ・ネオスリムをご指定ください。

■ お手入れのしかた

注意 お手入れの際は必ず電源スイッチを切ってください。感電の原因となります。

- 器具の汚れ（ホコリや虫など）は、ぬるま湯またはうすめた中性洗剤を浸した布をよくしぼってからふいてください。このとき、ぬれた手で内部の部品に触れないでください。
- ランプは取りはずしてから、乾いた布でふいてください。
- 牛皮革を使用している器具は、牛皮革に水がかかった場合は、すぐに乾いた布でふいてください。

警告

- 器具に直接水をかけて洗わないでください。器具の破損・落下・感電などの原因となります。
- ランプは丸洗いしないでください。ランプ破損によるけがや感電・火災などの原因となります。

注意

- 器具をいためますので、ガソリン、ベンジン、シンナーなどの薬品でふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。
- 金属部分をクレンザーやたわしでみがかないでください。傷つけたり腐食の原因となります。

■故障ではありません

- ランプの寿命がくると保護回路がはたらき、ランプが消灯します。電源を切ってすみやかにランプを交換してください。(ランプを交換した後、電源をOFFからONに切り替え、再点灯してください。)
- 冬場など、周囲の温度が低温のとき、明るくなるのに時間がかかったり、点灯直後にちらつきが発生することがあります。
- ランプが点灯するとき、ランプ管端部が赤く光ることがあります。
- 器具を使用中、近くでラジオやテレビを使用されますと雑音が入る場合があります。雑音が入る場合、照明器具とラジオ、テレビの距離をできるだけ遠ざけるか、それぞれの向きを変えてください。

■仕様

器具	定格電源電圧	消費電力	電源周波数	適合ランプ
70W形	100V	80W	50/60Hz共用	FHG70
	200V	75W		

■お客様メモ

購入年月日 年 月 日

■保証とアフターサービス

保証について

- 保証期間は、商品お買い上げ日より1年間です。但し、蛍光灯器具・HID器具の安定器(インバータバラスト含む)については3年間です。
- ランプ、点灯管、電池などの消耗品やセード、リモコン送信器は対象外です。
- 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。
- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無償修理させていただきます。

修理を依頼される時

- 保証期間中、お買い上げ日を特定できるものを添えてお買い上げの販売店(工事店)までお申し出ください。
- 保証期間を過ぎている時はお買い上げの販売店にご相談ください。
- 修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
- アフターサービスについてご不明な点並びに修理に関するご相談は、お買い上げの販売店または東芝ライテック照明ご相談センターにお問い合わせください。
- その際は器具の形名、お買い上げ時期をお忘れなくお知らせください。

保証の免責事項

- 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - (1) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (2) お買い上げ後の取り付け場所移送、輸送、落下などによる故障及び損傷
 - (3) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
 - (4) 車両、船舶等に搭載された場合に生じる故障及び損傷
 - (5) 施工上の不備に起因する故障や不具合
 - (6) 法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
 - (7) 日本国内以外での使用による故障及び損傷
- 離島及び離島に準する遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。

部品について

- 修理のため取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- 補修用性能部品の保有期間
弊社は、この照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。(セード・グローブなどは含まれません。)

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝ライテック照明ご相談センター

0120-66-1048 (通話料：無料)

受付時間：365日 9:00~20:00

携帯電話・PHSなど 046-862-2772 (通話料：有料)

FAX 0570-000-661 (通信料：有料)

- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。